

>> 株式会社 アスター

ものづくりの技術と最先端AI技術のタッグで世界の頂点を目指す



代表取締役 ほんごう たけのぶ 本郷 武延

株式会社 アスター
〒013-0054 横手市柳田12-3
TEL:0182-38-8552
FAX:0182-38-8553
<https://www.ast-aster.biz/>



HP

苦難を乗り越え結実した独自の製造技術

横手市に本社を置く株式会社アスター。創業はリーマン・ショック直後、不景気に揺れる中で撤退が決まった前身の工場を引き継ぎ、仲間と共に挑んだゼロからの再出発だった。工場長や生産統括として現場を支えてきた現代表取締役の本郷武延さんは「既存の真似ではない新たなものを」と開発に挑み、従来とは全く異なる独自の板状コイルを発明。展示会を機に大手メーカーから依頼があり、増産体制を作るために巨額の融資を受けて新工場を設立したものの突然案件が白紙となり、多額の負債を抱える窮地に陥った。

「自らモーターを完成させ、性能を世に問うしかない」と本郷さんはモーター開発へ着手。かんなん「艱難辛苦、汝を玉にす」という実業家・松下幸之助の言葉をものづくりに置き換え、「苦しいときほど価値ある製品が生まれる」と奮起。地道に技術を磨き上げた結果、その圧倒的な製品の性能が米国の先端ドローン企業や防衛テック大手に認められ、世界から熱視線を浴びる企業へと飛躍を遂げた。

最新技術との強みの融合で次なる夢の実現へ

海外での高評価を追い風に、同社は年間10万個の生産体制と売上高100億円という更なる高みを見据える。その大きな推進力となるのが、9月1日に発表された東大発のAIスタートアップ企業「あかり燈株式会社」との資本業務提携だ。相手は東京の気鋭のAI企業、こちらは秋田の製造ベンチャー。26歳と71歳という、世代を超えたトップ同士が意気投合し、わずか3か月で話がまとまった。AIによる業務効率化やフィジカルAI技術を製造現場へ導入し、熟練の技術だけに頼らない次世代スマート工場化を推進する。

「日本の製造技術とAIが手を組めば、世界をリードできる」と確信する本郷さん。この異色のタッグの根底にあるのは「秋田の地に強固な産業を興し、リーマン・ショックのような悲劇を二度と地域に起こさせない」という強い想いだ。向かい風を追い風に変えてきたから今がある。かつて味わった苦い経験は同社の原動力となり、次なる夢へと再び走り出す。



モーターの製造を行うスタッフ。
国内外から今、最も需要が増えている部門だ。



アルミニウムを使った軽量コイルは、
ドローンの飛行時間を飛躍的に伸ばしている。



インターンの受入を随時行っている。
本郷さんは「秋田の若者に自社の存在を知ってほしい。」と語る。